

表1 猪串湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和5年6月26日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コクロディニウム
		(m)	(°C)	(PSU)	(mg/l)	sp.	ミキモトイ	アカシオ	ホリクリコイテス
1. 森崎	9:58	0	24.1	31.33	7.7	0	0	9000	0
		2	23.7	31.90	7.0	0	0	325	0
		5	22.9	31.89	6.9	0	0	50	0
		10	20.9	32.10	6.2	0	0	50	0
		14.4	20.7	32.16	6.2	0	0	0	0
2. 越田尾	9:52	0	24.2	31.51	7.7	0	0	25	0
		5	22.9	32.05	7.2	0	0	0	0
3. 猪串					欠測				
4. 鵜の糞					欠測				
5. 小蒲江	9:41	0	23.9	32.01	7.7	0	0	25	0
		5	23.5	32.16	7.4	0	0	0	0
6. 屋形島					欠測				
7. 赤バエ					欠測				
8. 蒲江赤灯台	***	0	***	***	***	0	0	0	0
		5	***	***	***	0	0	0	0
9. 丸市尾	***	0	***	***	***	0	0	0	0
		5	***	***	***	0	0	0	0
10. みごの浦	9:36	0	23.9	32.03	7.5	0	0	25	0
		5	22.9	32.18	7.1	0	0	50	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※8,9は南部振興局採水

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイテス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

*アワビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

*マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項

有害プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが猪串湾で確認されています。

魚介類の管理にくれぐれもご注意ください。

